

プログラム 名 称	保健理工学
概 要	医療の現場は、技術革新の進展により高度化・多様化が進んでおり、医学と工学の知識を融合して学ぶことが重要となっている。本プログラムは、工学部および医学部保健学科で開講される関連科目を学部横断的に履修し、看護学、放射線技術科学、生体工学などを基盤として、医工連携および保健学・理工学の融合領域を体系的に学ぶことを目的とする。医療・ヘルスケア・福祉分野に必要な基礎知識を幅広く修得し、将来の医療現場で求められる視点や考え方を身につけることを目指す。
到達目標	1) 人体の構造・機能および生体の基本特性を理解し、医療・ヘルスケア分野における課題を多角的に分析できる。 2) 医療、ヘルスケア、福祉に関わる各分野の専門性と役割を理解し、学部横断的な履修を通じた分野間連携の意義を説明できる。 3) 工学および保健学の基礎的知識を横断的に学び、医工連携・融合領域における工学の役割と重要性を理解できる。 4) 医療・ヘルスケア・福祉分野の課題に対して、人間工学的視点を含む工学的考え方をを用いて、課題の捉え方や改善の方向性を示すことができる。 5) 医工連携や分野融合の考え方を踏まえ、異なる専門分野の知識を関連付けながら、医療・ヘルスケア・福祉分野を俯瞰的に理解できる。
履修資格	
修了要件	所定の授業科目について、区分A（工学系科目：Tコード）から2単位以上、区分B（医学系科目：Mコード）から2単位以上、合計12単位以上を修得していること。
その他 特記事項	水準コードが10番台であっても、当該学部生以外の履修は可能。

区分	開講番号	開設科目名	必修	単位	学期	曜限	形態	対象学年	分野	水準	定員	隔年開講	備考
A	264T7048	診断支援工学		2	第4ターム	金3,金4	講義	3,4,5,6	56,85,90	14	60		
A	261T7040	看護工学		2	第1ターム	水3,水4	講義	3,4,5,6	56,85	14	60		
A	263T4044	生体計測		2	第3ターム	月2,木2	講義	3,4,5,6	10	04	70		
A	262T0501	人間支援感性科学概論		2	第2ターム	月3,月4	講義	1,2,3,4,5,6	56,14,10	14	85		
A	260T7057	スポーツ生理学		2	第3,4ターム	水3		2,3,4,5,6	14,56	14	60		
A	261T7065	生体信号処理		2	第1ターム	水1,水2		3,4,5,6	56	14	60		
A	262T7055	生体工学		2	第2ターム	火3,火4		2,3,4,5,6	56	14	80		
A	264T7035	機能生理学		2	第4ターム	金4,金5	講義	2,3,4,5,6	56	14	80		
B	260M8004	医療と画像技術		2	第3,4ターム	火4	講義	1,2,3,4	81	03	100		
B	263M8355	医用放射線技術の歴史		1	第3ターム	火5	講義	1,2,3,4	87	04	45		
B	263M8306	医用生体工学		1	第3ターム	金1	講義	3,4	87	04	45		
B	260M8014	ケアの基本理念と実際		2	第3,4ターム	水4	講義	1,2,3,4	85	03	150		
B	260M8020	保健学総合		2	第3,4ターム	金5	講義	1,2,3,4	82	13	160		
B	260M8012	人間工学論		2	第1,2ターム	月4	講義	1,2,3,4	56	03	150		

※1 対象学年はシラバス「聴講指定等」も参照してください。 ※2 定員等の関係で履修できない科目もあります。